

## ■ 市長から市民のみなさんへ

市長 白井博文



### ■ この頃の天候について

9月上旬、大型の台風12号が四国に上陸し、ゆっくりとした速度で中国地方の東部を北上したため、台風の進路の東側にあたる関西地方、特に紀伊山脈を中心に数日間に1,000ミリを越す猛烈な豪雨が降り続き、各地に深刻な災害の爪痕を残しました。本市も、厚狭川の整備が途中であるだけに、下関地方気象台から本市や近隣市に大雨注意報が発令されると、職員数名が待機し深夜も警戒にあたるという態勢で臨みましたが、大きな影響がなくて済みました。

この頃の気象、少し異常さを感じませんか。やはり多くの学者が指摘するように地球の温暖化と無縁ではなさそうに思えますが、みなさんいかがですか。数年前、国の法律に基づいて本市でも地球温暖化対策地域協議会が立ち上がり活動を続けていますが、今後は更なる実効的な取組みを強化し、今、身近なところで何ができるのか、何をすべきかを協議していただきたいと思っています。また市民のみなさんにご報告をし、ご協力をお願いをいたします。

### ■ 総合防災訓練を実施しました

9月1日は防災の日です。折から台風12号が日本に接近していて実施が危ぶまれましたが、今回は出合小学校で9月2日、午前9時半から約2時間、多くの防災関係機関、市議会議員・市職員、地域のみなさん、そして保育園・小学校の園児・児童の参加を得て、今年の実施することができました。今年、四国沖での発生が懸念される「南海地震」と連動した「本市での震度5弱の地震」を想定

した訓練でした。（同時刻に市内の全小中学校等でも避難訓練に参加しましたので、参加者は8,600人を超えました。）校庭の隅々まで聞こえるアナウンスと、担当部署の事前準備の良さのお陰で、地震発生後数時間という時間帯での自助・共助・公助の役割分担を、参加者のみなさんに少しは会得していただけたのではないかと思います。ご家庭でも、「もしものときの備え」を話し合ってみてください。

### ■ 耐震化の補助金をご利用ください

昭和56年に住宅の耐震基準が変わりました。その後建った木造住宅はご心配いりませんが、それ以前に建てた木造住宅は耐震の強度不足で、地震で倒壊する恐れがあります。本市では平成20年度から「木造住宅耐震化促進事業」に補助金を交付することになっています。補助率は耐震診断費の3分の2（限度額4万円）、耐震改修工事費の3分の2（限度額60万円）です。

近年、四国沖の「南海地震」の発生が懸念されています。「備えあれば憂いなし」です。耐震の改修がまだの方、ぜひ、補助制度をご利用ください。ちなみに本市では、全小中学校を対象に耐震補強工事に取り組んでいます。来年度で全ての工事が完成しますが、完成すると、市内の全校舎が震度6強の地震に耐えることができることとなります。

**対話の日** 9月22日(木) 19:00～  
県営住宅古開作団地集会所  
(須恵小学校前)